

社会的養護Ⅱ	1年	後期	講義2単位	担当教員名	井坂 亨
	卒選	幼選 保選			
授業の到達目標及びテーマ ① テーマ：日本における社会的養護の現状と課題の理解 そのⅡ ② 目標・施設養護の専門職について及び基本的な援助技術について理解する。 ・社会的養護の実際及び支援の計画と内容をするとともに、事例の分析について理解する。 ・虐待児童と児童養護及び施設養護の実践並びに施設実習について調べる。 ・社会的養護の課題と展望について調べる。					
授業の概要 社会的養護Ⅰでは、特にその基本的な理論について学んできた。社会的養護Ⅱでは、その理論を深めながら内容面を学んでいくことになる。それは、児童の権利擁護や保育士の倫理、施設養護及び社会的養護の実際、個々の児童に応じた支援計画、日常生活の支援、援助技術について学ぶとともに、社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について深めながら、日本の社会的養護の現状と課題についてまとめていく。					

授業計画

コマ	項目	内 容
1	施設養護の職員	・職種理解とチームワーク ・児童養護専門職の役割
2	施設養護の職員	・児童福祉施設援助者としての人間性 ・保育士等の倫理と責務
3	施設養護における基本的な援助技術	・施設養護における援助技術 ・個別援助技術
4	施設養護における基本的な援助技術	・集団援助技術 ・カウンセリング ・子どもの心理療法
5	社会的養護の実際	・施設における生活リズムと日課 ・衣食住の基礎的ニーズの充足
6	社会的養護の実際	・しつけ ・学校教育や地域社会との連携 ・学習指導 ・余暇生活 ・自立支援
7	社会的養護における支援の計画と内容及び事例分析	・個別支援計画の作成 ・日常生活支援に関する事例分析
8	社会的養護における支援の計画と内容及び事例分析	・自立支援に関する事例分析 ・治療的支援に関する事例分析
9	虐待問題と児童養護	・増加する児童虐待
10	虐待問題と児童養護	・家庭・施設の実際と児童虐待 ・児童虐待への対応
11	今後の課題と展望	・施設の小規模化と地域との関わり ・社会的養護の課題と展望
12	施設養護の実践紹介	・児童養護施設 ・児童自立支援施設
13	施設養護の実践紹介	・知的障害児施設 ・自閉症児施設
14	施設養護の実践紹介	・知的障害児者厚生施設 ・盲・ろうあ施設
15	福祉施設実習に向けて	・福祉施設実習の目的 ・記録及び自己評価
定期試験	15コマの講義終了後に筆記試験を実施する。	
テキスト	子どもの養護 ―社会的養護の原理と内容― 松本峰雄 編著 建帛社	
参考図書	改訂 子どもの社会的養護 望月 彰 編著 建帛社	
教員の評価方法	授業態度(15%)、レポート・提出物状況(15%)定期試験(70%)の総合で評価	
準備学習等履修上の留意点	授業前の準備＝前時に予告したテキストの熟読。授業後の指導＝毎時学習プリントを配布するので復習の励行	